

合格体験記

氏 名:

担任講師: 矢吹、松久

先生

在籍校舎: 南千住

校

進学先

都立城東高等学校

その他
合格校

二松學舎大学附属高等学校

*入試に役立った先生のアドバイス・勉強方法や、合格につながった体験・エピソード等を書いてください。

私は、都立城東高校に合格しました。この結果は今まで支えて下さった先生方のおかげだと思います。

7月のV模擬では都立城東高校へ判定は出ていた。私はE判定だからあきらめたほうが良いかなと思っていました。ですがその時、英語担当の先生や、数学担当の先生が、「まだ伸びるから頑張れよ」と背中を押してくれて、あきらめずに頑張ろうと思えました。

しかし、英語の宿題が多くあまり出来ないといい状況で私は、点数も伸びず、英語はやる気も出ず、サボってしまうことがありました。英語の先生の「英語は出来て損することは無い」という言葉で私は変わりました。英語は受験のためだけでなく将来も役立つと思い、今からやっても無駄にはならないと考えたからです。

ですが、9月～12月のV模擬ではずすとC判定。不安しかけられたです。しかし、冬期講習をうけ、たくさんの先生方から色々な知識や解き方を教えてもらい、1月の最後のV模擬ではB判定でした。CからBに上がったという嬉しさはありましたが、B判定でも不安でした。なぜなら、国語と社会の偏差値が安定しなかったからです。

私は、国語と社会が苦手です。冬期講習の先生に「国語のせいで落ちるよ」と言われたほどでした。だから私は、1日に物語文、説明文、古典のどれか1つを読むことにしました。そして、国語の得意な友達に話を聞いてみたりと努力しました。社会は、苦手としている部分ばかりとしていたのを苦手な部分を中心に復習をし、間違えてしまったところはノートにまとめ、わかるようにところは先生に聞いてみました。私は、

間違えてしまった部分をしっかりと直すこと
は大切なことでないと感じました。
私をE判定から合格へと導いて下さった先生方には感謝しお礼申し上げます。この稲門学舎の先生方は自分達の進路にしっかりと向き合い、アドバイスをしてくれる先生がたくさんいます。本番では、苦手としていた国語と社会が高く、どの教科も手割を越えることができた。最後まで支えてくれた先生方の影響だと思えます。だから苦手から逃げず、リ模擬の判定が不安でも手を振らず、稲門学舎の先生を信じて一生懸命頑張ってください。